

「医療ビッグデータサイエンス(AIを含む)」に

興味のある大学院生大募集！

血液・内分泌・代謝内科 研究室

伸びゆく医療ビッグデータ分野

現代医療のスタンダードである Evidence-based Medicine (EBM＝科学的根拠に基づく医療)を支える臨床エビデンスを生み出す臨床疫学研究は、医学研究の最重要分野です。さらにその発展形として、医療ビッグデータと ICT や AI を駆使した「医療ビッグデータサイエンス」が、将来性ある分野として世界的に注目されています。

「医療ビッグデータサイエンス」とは？

医療・医学の世界はデータであふれています。たとえば健康診断や人間ドック、電子カルテ、診療報酬請求などのデータは自動的に生成・蓄積されています。近年の ICT 技術の急速な進歩により、これらの医療ビッグデータの解析が可能になり、現場に役立つ科学的エビデンスが効率的に生み出せるようになりました。従来の手法では生み出すことが難しかった結果が、あっという間に次々と得られるエキサイティングな研究分野です。

当研究室の取組み

当研究室は、全国の病医院、自治体、健診機関、ハイテク企業などとのコラボレーションにより、医療ビッグデータサイエンスの幅広い分野において大きな成果を生み出し続けており、国内外の一大拠点として注目されています。バイオインフォマティクスや人工知能(AI)の活用、ゲノム情報と生活習慣情報とを合わせた個人別の疾患発症や予後予測などの「精密医療」や「先制医療」も始めています。さらに膨大な医学論文データベースを、専門的技法により統合解析するメタアナリシス研究の先端拠点でもあります。対象疾患は、生活習慣病から悪性腫瘍まで多岐にわたります。

「医療系大学教員を目指す方」大募集！！

薬学、生物学、栄養学、体育学、看護学、保健学、心理学、数学統計学、社会学、理工学などがご専門の方、またはそれ以外の方も興味があれば、卒業学部や医療資格の有無を問わず大歓迎！！企業に勤務しながら社会人入学される方も多く、共同研究、持ち込みデータの共同解析も歓迎ですのでぜひご相談ください。特に博士課程（修士取得後3年間で早期卒業可能）まで進学し、将来、研究者や医療系大学教員を目指す方が最適です。すでに多くの先輩が、各職種の医療系大学スタッフとして活躍しています。気軽に下記までご相談下さい。

連絡先 新潟大学大学院 医歯学総合研究科 血液内分泌代謝学分野 教授 曽根 博仁
TEL 025-368-9026 FAX 025-368-9300 e-mail emh@med.niigata-u.ac.jp

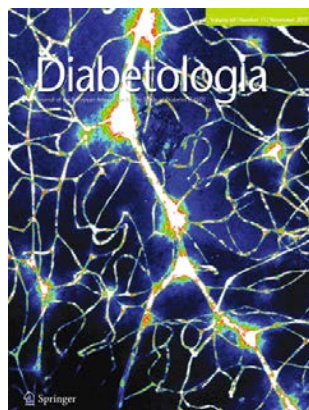
これまで当研究室の、**医師以外**の院生論文が
アクセプトされたジャーナル



医学界を代表するジャーナル
Impact Factor 47.8



アメリカ糖尿病学会誌
Impact Factor 11.9



ヨーロッパ糖尿病学会誌
Impact Factor 6.1



アメリカ栄養学会誌
Impact Factor 6.9



アメリカスポーツ学会誌
Impact Factor 6.8



アメリカ内分泌学会誌
Impact Factor 5.5